



希望に満ちて

さいたま市立大門小学校

心豊かで たくましい
大門小児童の育成
< 夢と目標をもち、
生き生きと活動する子ども >



人を笑顔にする

さいたま市立大門小学校
校長 宮本 江津子

紫陽花の花が咲き始めました。写真の紫陽花は、職員玄関の奥に咲いているガクアジサイです。給食室の近くには、ピンク色のガクアジサイがあります。まあいあじさいは、なかよし学級の近くに咲いています。『紫陽花』といっても、いろいろな紫陽花がありますね。みんな違って、それぞれの美しさがあります。花の色もいろいろな色があり、小さな花が集まってひとつの花のようになっていますが、その小さな花の一つひとつも、違った色をしています。グラデーションのようにきれいです。紫陽花は、やっぱり雨が似合いますね。もうすぐ梅雨入りでしょうか……。雨に濡れた大門小の紫陽花を、毎朝楽しみに見えています。

数年前、CMで流れていた人を笑顔にする「思いやり算」を知っていますか。

算数で「+」「-」「×」「÷」の計算を勉強しますが、算数とは違う「思いやり算」という言葉（詩）があります。

- 「+」 たすけ合うと 大きな力に
- 「-」 ひき受けると 喜びがうまれる
- 「×」 声をかけると 一つになれる
- 「÷」 いたわると 笑顔は返ってくる

「+」は、助け合うことです。一人ひとりの力は小さいものでも、みんなが力を合わせ協力し合うことで大きな力となります。

「-」は、引き受けることです。困っている人のちょっとしたことでも引き受けること、積極的に手伝うことです。そうすると、困っていた人や手伝ってもらった人は、心が軽くなります。引き受けた人も、「よかったな。」と思えて、うれしくなるでしょう。

「×」は、声をかける、話しかける、気にかけることです。

「÷」は、いたわる。親切に接する、相手を大切に世話するという意味があり、いたわりの心で接すれば、相手の心も和やかになります。

困っている人がいたら、声をかけたり、いたわったり、助けたりできるような心をもった子どもたちに育て、人に優しい気持ちで接し、みんなが笑顔で過ごすことができる大門小をつくっていきます。

今月は、「いじめ撲滅強化月間」です。本校でも、いじめの未然防止・早期発見・早期対応の一層の充実を図るとともに、日頃より、いじめを許さない集団づくりを目指してまいります。